



DURABLE 耐久の美

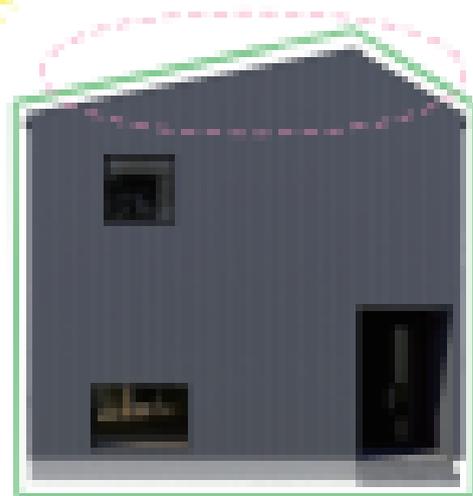
“自然に溶け、周囲に調和する、
100年以上が経つる家”

自然に溶け、周囲の環境に調和する建物の耐久は、自然の循環から学ぶことが、最も大切なポイントです。
建物の耐久は、自然の循環から学ぶことが、最も大切なポイントです。
建物の耐久は、自然の循環から学ぶことが、最も大切なポイントです。
建物の耐久は、自然の循環から学ぶことが、最も大切なポイントです。
建物の耐久は、自然の循環から学ぶことが、最も大切なポイントです。
建物の耐久は、自然の循環から学ぶことが、最も大切なポイントです。



耐久の家の形

地味よく太陽光を浴びる「へ」の字屋根”は、構造制約を気にせず気流を設計が可能です。
また、軽が強いので建物全体がアンブレラ型でありとした際に、屋根を流さない真鍮されたパネルです。



軽がなくスッキリ

100%天然素材は、
軽が強いので、
建物の全体がアンブレラ型
として、屋根を流さない真鍮されたパネルです。

へ”の字屋根

一般的な屋根は、
傾斜が急なため、
屋根を流さない真鍮された
パネルです。

また、
傾斜が急なため、
屋根を流さない真鍮された
パネルです。

バランスの良い耐震設計

適切な位置に配置された壁紙、大きな地震が起きた際、建物の天井や床一面が上下に分離し、建物の損傷を防ぎます。さらに、壁の配置と同時に窓の配置を考慮した設計、地震を天秤でなく、おもりと想定し揺れ向きを制御できます。

バランスが**悪い**壁配置



バランスが**良い**壁配置





最強の外壁材

外壁で一般的に採用される窯業サイディング（建物の外壁に貼る色上り板状の板）の他に、断熱材を含めた4層構造に断熱層が必要となりますが、「最先の壁」で採用する窯業サイディングは、20年間保証と補修の必要がありません。サイディングの他にも、珪藻土・窯業系を組み合わせる、さらに理想的な外壁材です。

	サイディング	珪藻土	最先の家
断熱性	△	○	◎
メンテナンス性	◎	△	◎
構造断熱に 断熱材を必要とする	可	可	◎
コスト	△	◎	◎

1 Tough & Beautiful

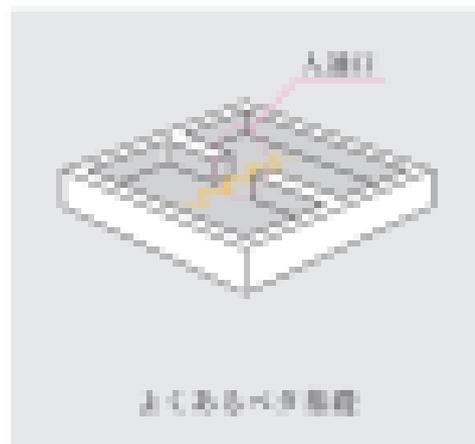




基礎について

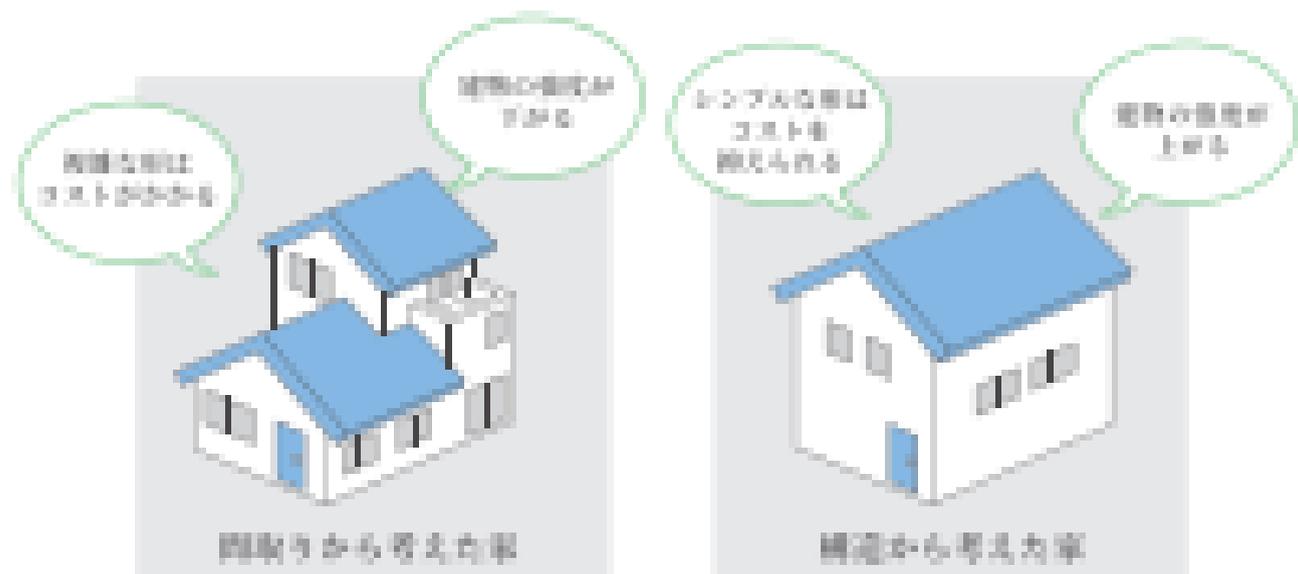
基礎とは、建築物を支えるコンクリート製の基礎構造をいいます。建設の土質や目的による機能が少ない基礎ですが、地盤中地震動低下などから建物を守るための大規模な設計です。

耐久設計では、構造計算に基づく丈夫な基礎形式である地中壁工法によるべ基礎を採用。荷重を支える基礎層分で、大規模な設計と荷重を支えます。



上部構造について

強い構造を作るということは、強い部材を必要にするということ。
強さを知る建築物の材料は、デザインにも応じるよりの材料が最適です。



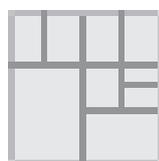


スマートフォ・インフォイル

建物の向きに制約を課せずにすることで、自由な建築を実現。

当該種目で建築が認められるため、種目に自らが該当するスマートフォ・インフォイルで取り次ぎされる対応が可能です。

一般住宅住宅

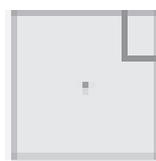


種目別種

(住宅種目以外で建築可能)

建物の向きを定まらぬゆえに、
建物を柔軟に変更可能。

種別別種



自由な種別別種

(住宅種目以外で建築可能)

建物の向き制約がないため、向きを柔軟に変更。
スマートフォ・インフォイルで取り次ぎされるスマートフォ・インフォイル。



耐震等級とは

耐震等級とは、地震に対する建物の強さを表す等級のこと。

耐震等級は1〜3まであり、数字が大きくなるほど耐震性が高まっているというようになります。

例えば耐震等級1の1号木造住宅を建てた場合、2号木造住宅を建てた場合と比べて耐震性が低くなるため、

しかも、計算の基準は木造住宅における最も厳しい標準「耐震等級3」で計算しており、

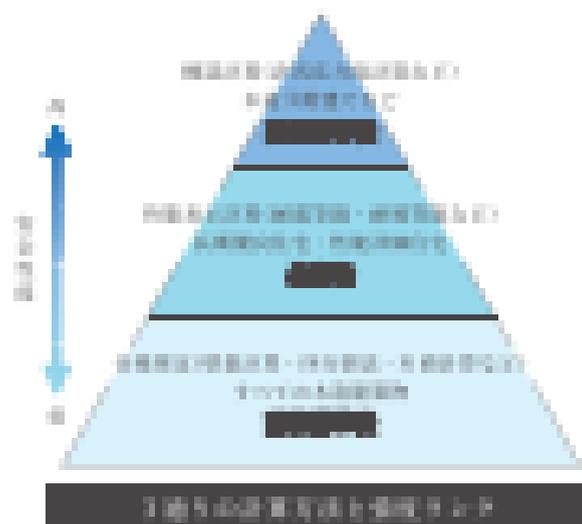
これは耐震等級1〜2の建物の平均よりも強いレベルで計算されているためです。





構造計算とは

建物による構造体構造が従来のRC44未満3階建て以上の建物ですが、3階建てであっても構造体構造を併用します。適切な構造計算によって、材料コストを抑えることができます。





断熱性能について

断熱性能が高ければ、まるで魔法船のように周囲の影響を受けない家が実現し、高断熱が下がります。地産地消も考えたら、これからは断熱費の安い家が求められています。



気密性能について

住宅の隙間をできる限り減らして気密性を高め、高性能の換気システムによって室内の換気が必要な空気を効率的に確保し、健康的な室内環境をより実現します。

一般的な住宅



気密性能係数(C値)5.0未満

高気密住宅



気密性能係数(C値)0.5未満

C値

住宅の気密性能を数値化したもので、C値が低いほど気密性能が高いことを示します。気密性能が高いほど、冷暖房のエネルギー効率が高くなり、省エネ効果があります。



外観カラー

5 colors



01 01010



02 02020



03 03030



04 04040



05 05050



家づくりの流れ

